

安全のしおり



令和6年9月1日
通算第346号
安全・適正就業委員会

【安全は無理せず焦らず 油断せず】・【高齢者 自信過剰は事故のもと】

■ 秋の全国交通安全運動 — 反射材 光って気づいて 事故防止 — 9月21日(土)～30日(月)

日没時間が早まる秋口は、夕暮れ時・夜間における交通事故の増加が心配されます。事故に遭わない、起こさないためにも一人一人が交通ルールと交通マナーを守り、より一層の交通事故防止に努めましょう。

- ・反射材の着用、歩行者も自ら注意
- ・夕暮れ時における早めのライト点灯
- ・飲酒運転、あおり運転 絶対しない・させない
- ・自転車ヘルメットの着用 など

ゼブラ・ストップで事故ストップ

ゼ	・前方	前をよく見て安全運転
ブ	・ブレーキ	横断歩道手前では ブレーキ操作で安全確認
ラ	・ライト	横断歩道でも 3 ライト

①早めのライト点灯

②反射材でライトアップ

③右(ライト)からの横断に注意

■ 事故ゼロを目指して

全国シルバー人材センター事業協会より、重篤事故の件数が増加傾向にあり、その多くは墜落・転落による事故とのことです。重篤事故の要因としてヘルメットや安全帯の未装着が多く、頭部の怪我は死亡リスクを高めます。どんな時も、特に地上から少しでも離れる作業の場合はヘルメット(保護帽)を着用、脚立を使用する場合は安全帯(墜落制止用器具)の装着をお願いします。

また、自転車利用についても、就業先への移動はもちろん、日常生活で自転車に乗る時も自転車乗車用ヘルメットを着用して、頭部を守りましょう。

■ 台風・ゲリラ豪雨に注意しましょう

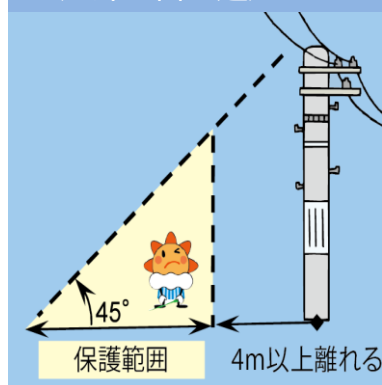
近年のゲリラ豪雨や雷雨は激しさも増し、さらには増加傾向にあり「身近な危険」と感じている人も多いと思います。

発生の前兆として、「急に真っ黒な雲が近づいてくる」、「冷たい風が吹いてきた」、「稲光が見える」といった天候の急変が挙げられます。

発達した積乱雲はゲリラ豪雨だけでなく、落雷や竜巻などの突風をもたらすこともあります。

もし、ゲリラ豪雨に遭遇した場合は水辺や地下施設から離れ、早めに頑丈な建物に避難、気象情報の確認など安全第一に行動しましょう。

屋外で雷に遭遇したら



就業情報一覧(令和6年9月版)につきましては、紙面の都合によりホームページに掲載しております。ご了承くださいませよう何卒よろしくお願い申し上げます。

URL <https://webc.sjc.ne.jp/noda/index>